第 2 号

第 2 号 令和6年12月19日(木) = 発 行 = 北海道豊富高等学校 PTA広報部

豊富高校ホームページ URL:http://www.toyotomi.hokkaido-c.ed.jp/

TEE

京都·大阪自主研修 清水寺·奈良公園·薬師寺

4日目 USJ自主研修

5日目 伊丹空港発豊富着



















500

奈良公康



ユニバーサル・スタジオ・ジャパン自主研修







帰りのバス

「スクール・ミッションとスクール・ポリシーの見直し」

教育に関する専門用語が多くなることをあらかじめお断りします。

本校の学校教育目標は「たくましく生き抜く人 たえず学び続ける人 ともに助け合う人」です。私がこ れまで勤務した高校の中で、最もわかりやすい教育目標だと思います。しかし、一部の高校の教育目標は、 抽象的でわかりにくいと指摘されていたこともあり、各高校の社会的役割(スクール・ミッション)を再定 義するよう、国は関係する法令・規則を改正しました。スクール・ミッションは高校の設置者(本校は北海 道教育委員会)が地域の実情や生徒の状況等を踏まえて再定義するのですが、道立高校190校すべての実情 や状況を踏まえた再定義は大変なので、各高校において道教委が提示した汎用性のあるスクール・ミッショ ンから1~2項目を選び、報告したうえで道教委が再定義することとなっています。なお、高校独自のもの 北海道豊富高等学校長 を報告することも可能です。本校では6月から検討・議論をおこない、PTA役員や学校運営協議会委員か 宮 本 幸 紀 ら意見をいただき、次の3項目を報告しました。



- 1 地域との連携・協働等を通じて、地域の課題に向き合い、解決するために必要な資質・能力を身に付けた生徒の育成
- 2 ICT等を活用した遠隔授業や個に応じた指導を通じて、自ら学習意欲や基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、 自己実現のために努力する生徒の育成
- 3 自立の精神にあふれ、自らの夢に向かって行動していくとともに、ふるさとへの誇りと愛着を持ち、これからの社会に 貢献し、共に支え合う生徒の育成

学校ホームページに掲載している現行のものと見比べていただければと思いますが、1と2は現行と同じものを道教委の提示 から選択し、3は「夢に向かって行動する」「ふるさとへの誇りと愛着を持つ」「共に支え合う」をキーワードとした独自のもの としました。早ければ年内には、北海道教育委員会からの通知があると思いますので、決定しましたらお知らせします。 また、育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー) についても、現行のものは12項目もあり多い

基礎力 … 社会で求められる一般常識や教養を身につけ、それを用いることができる力

ことと、どのような力なのかの具体的な説明がなかったことを理由に、次のように見直しました。

論理力 … 物事の意味を状況に合わせて理解し、筋道を明確にして思考・表現する力

対応力 … 変化の激しい時代でも何事にも対応できる力

協働力 … 様々な考え方や価値観を受け入れ、周りの人と協力して物事を進めることができる力

行動力 … 自らの夢に向かって、行動していく力 精神力 … 粘り強く取り組み、自分らしく生きる力

先生方はもちろん、生徒も日ごろから意識できるようシンプルに6項目にし、具体的な説明も加えました。新たに策定した資 質・能力が、生徒にとっては身に付けることが高校生活の目標のひとつとなるよう、先生方にとっては育成することが日々の教 育活動の最終的な目標となるよう、本校の教育活動を進めてまいります。これからも、ご理解、ご協力をお願いします。

新生徒会執行部

長 岳上 元(2A) 長 近藤 荫(2A)

計 結(2A) 野沢 礼希(2A) 千葉 煌太(1A) 山木 悠月(1A)

新しく生徒会長になりました岳上元です。

これから1年間豊高を盛り上げられるように全力で頑張ります!

生徒会長 岳 元





10月3日、一日防災学校を行いました 避難訓練では地震発生後に校内で火災が発 生したとの想定で体育館に避難しました。 このほか、豊富町役場危機対策係と豊富消 防のみなさまの協力をいただき、避難所運 営ゲーム『Doはぐ』体験、段ボールベッ ド組み立て体験、災害用テント設営体験、 要救助者搬送体験を行いました。豊富町に はサロベツ断層帯があり、マグニチュード 7.6程度の地震が発生する可能性がある地 域です。まずは自分の身を守り、落ち着い たら避難所等の運営協力ができるよう、 様々な体験をしておくことが大切であると 理解できました。

















第 2 号



第2号

7月19日1学年家庭基礎の授業で「きもの授業」を行いました。 浴衣の着付けを体験し、日本の文化に触れる、良い機会となりま



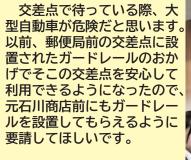


3年生が本物の議会さながらの答弁を体験させて いただきました。公民科「北海道探究」の授業の一環で実施さ れているこの授業は生徒一人一人の地域への理解を深め、公民 的資質能力をつけることを目的として豊富町役場、豊富町町議 会の全面的なサポートを受け実現しています。



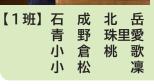


現在、豊富町では、まちの 計画の一環として「若者を町 に呼び込む」ということを目 的とした事業が進められてい ると思います。そこで、私た ちは、事業の一つとして、豊 富高校の中で酪農の事につい て学べる学科があったらいい のではないかと考えました。 この意見について、町長、教 育長としての見解をお聞かせ ください。





山 朝近増 日 せりな 藤結田莉 乃 子

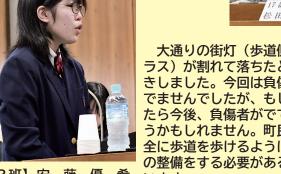




大通りの街灯(歩道側のガ ラス)が割れて落ちたとお聞 きしました。今回は負傷者が でませんでしたが、もしかし たら今後、負傷者がでてしま うかもしれません。町民が安 全に歩道を歩けるように街灯 の整備をする必要があると思



菊地 松田美羽



【3班】安藤 優希 小野寺 咲 果 竹 中 瑠 唯 竹中瑠花

層があり、いつ災害が起こっ てもおかしくありません。そ こでフェーズフリーを対応し た遊具の設置を提案します。 フェーズフリーとは、平常時 非常時問わず利用できること を意味します。具体例として 【4班】阿 防災シェルターや貯水槽など と考えますが、いかがでしょ うか。







9月27日に体育大会が行われました。競技はバスケットボール、バレー ボール、借り物競争、パン食い競争もどきを行い、全学年を4つの組に分 け、学年を超えた交流ができました。

